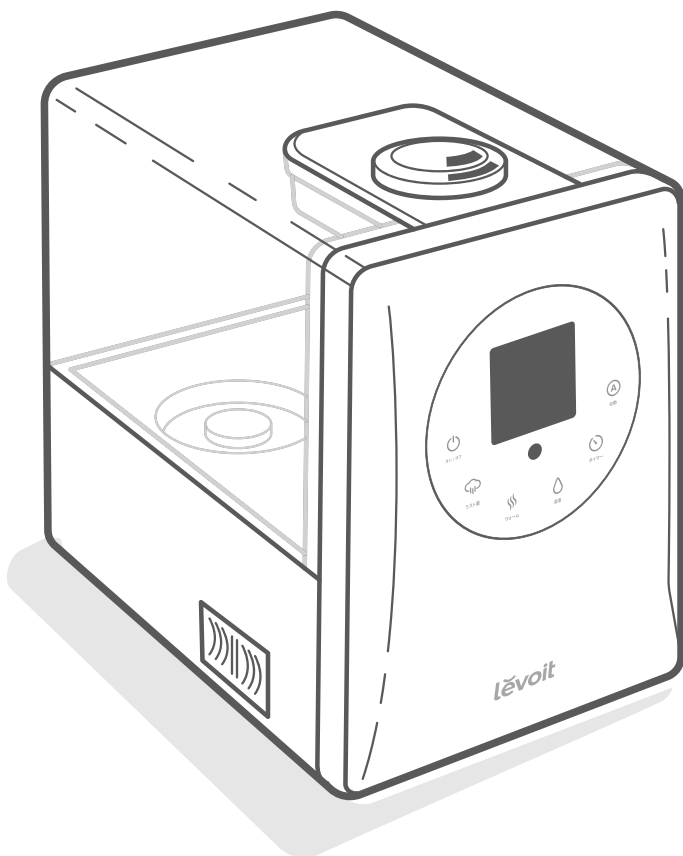


lëvoit

ユーザーマニュアル

ハイブリッド超音波加湿器

モデル: LV600HH



質問やお困りの場合は、以下までご連絡ください：
support.jp@levoit.com

目次

梱包内容	2
仕様	2
安全情報	3
加湿器の概要	5
コントロール	7
はじめに	8
加湿器の使用	10
重要なヒント	14
お手入れ&メンテナンス	16
トラブルシューティング	20
保証について	23
顧客サポート	23

梱包内容

1 x ハイブリッド超音波加湿器
1 x リモコン
1 x 3V CR2025バッテリー（設置済み）
3 x アロマパッド（1枚設置済み）
3 x 吸収パッド（1枚設置済み）
1 x 掃除用ブラシ
1 x ユーザーマニュアル
1 x クイックスタートガイド

仕様

電源	AC 100V、50/60Hz
定格電力	280W
有効範囲	40~70 m ²
給水タンク 容量	6 L
クールミスト 最大出力	300 mL/h
ウォームミス ト最大出力	500 mL/h
寸法	28.7 x 17.8 x 26.7 cm
重量	2.95 kg

この説明書を読んで 保管してください。

安全情報

火災、感電、怪我などのリスク軽減のため、すべての指示と安全ガイドラインに従ってください。

安全全般について

- この加湿器は、本書に記載された方法でのみご使用ください。
- 本器およびコードは、本器が転倒することの無いように配置してください。大型家具の近くや人がよく通る場所に置かないでください。
- 使用しないときは、本器の電源を切り、プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。
- 感電の原因になりますので、給水タンクに水を入れすぎないでください。
- 本器を水気の多い場所で使用しないでください。
- 本器はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- お手入れなどのために底部を開いたり、液量センサーを取り外したりしないでください。
- 本器を掃除する前、または本器の底部から給水タンクを取り外す前に、必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本器を使用する前には、必ず平らで水平な場所に本器を置いてください。
- 給水タンクには、精製水または蒸留水のみを入れてください。説明書の指示がない限り、絶対に他の液体を入れしないでください。
- 本器をコンロの上やオープン、ラジエーターなどの熱源のそばに置かないでください。
- 床、カーペット、ラグマットの上に直置きしないでください。耐水性のある表面にのみ本器を置いてください。
- 純正品以外のスペアパーツを本器に使用しないでください。
- 本器の作動中にノズルを覆わないでください。作動中にノズルを覆うと、本器が損傷することがあります。
- 本器を移動する前に給水タンクを底部から取り外してください。
- 加湿器の底部、電源コード、プラグを水に浸さないでください。
- 本器の底部や給水タンクに異物を入れないでください。
- ミストを壁や家具など耐湿性のない場所に向けしないでください。
- 本器の電源を切った後は、特に暖かいミストを拡散させていた場合は、すぐに掃除をしないでください。掃除をする前に、本器が完全に冷めるまで待ってください。
- 洗浄用洗剤で本器を洗浄しないでください (16 ページの「お手入れとメンテナンス」を参照)。
- 電源コードまたはプラグを濡れた手で触らないでください。プラグやコードに液体を近づけないでください。
- 本器は業務用ではありません。家庭用以外の用途に使用しないでください。

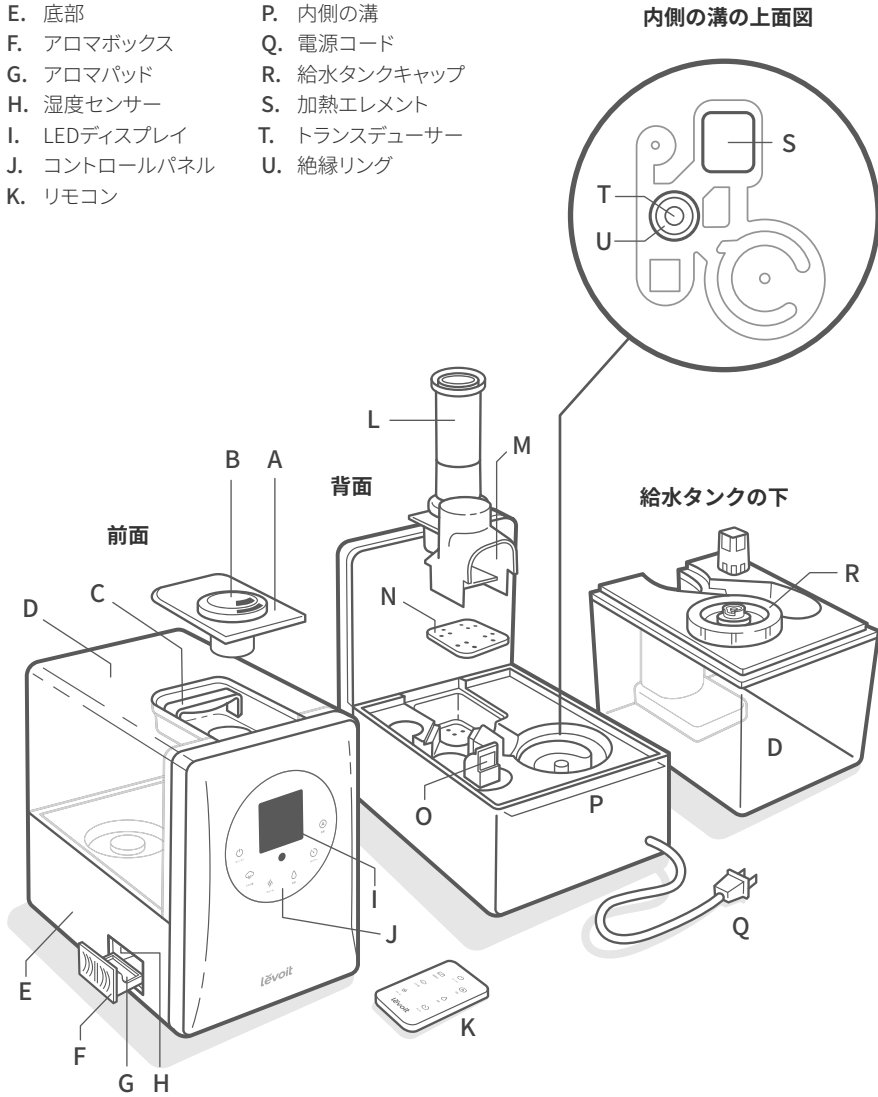
**警告：水漏れおよび
感電の危険性**

- エッセンシャルオイル、水処理用添加剤、またはウォーターフィルターを給水タンクや底部に入れないでください。本器の損傷や水漏れの原因となることがあります。エッセンシャルオイルは、アロマパッドのみに入れてください。
- 本器が損傷したか、正常に機能しない場合は、ご使用を中止し、ただちに顧客サポートまでご連絡ください（23ページ参照）。

加湿器の概要

機能図

- A. ノズルキャップ
- B. ノズル
- C. ハンドル
- D. 給水タンク
- E. 底部
- F. アロマボックス
- G. アロマパッド
- H. 湿度センサー
- I. LEDディスプレイ
- J. コントロールパネル
- K. リモコン
- L. ミストチューブ
- M. ミストチャネル
- N. 吸収パッド
- O. 通気口
- P. 内側の溝
- Q. 電源コード
- R. 給水タンクキャップ
- S. 加熱エレメント
- T. トランスデューサー
- U. 絶縁リング



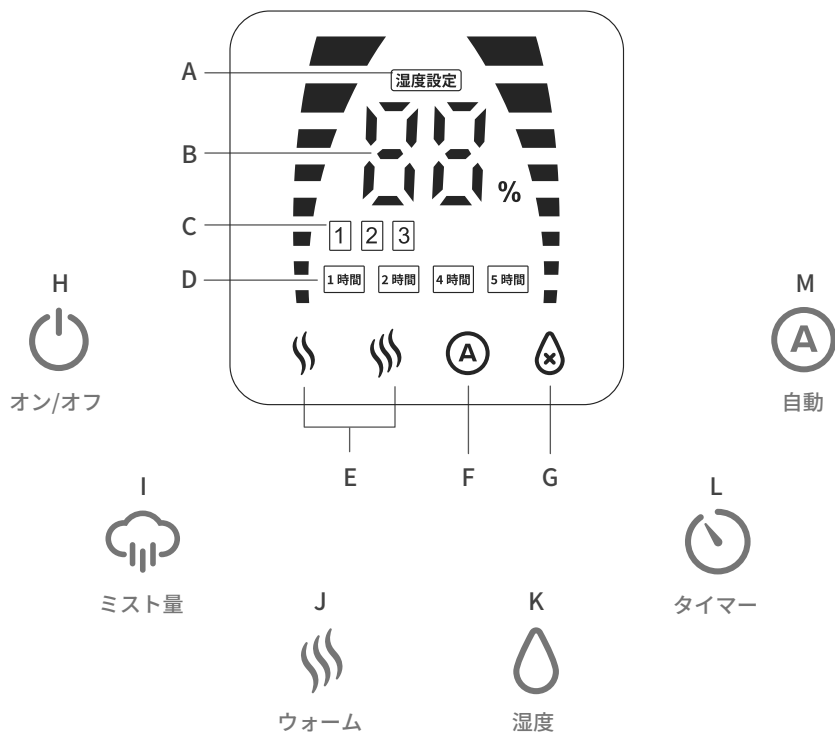
加湿器の概要（続き）

ディスプレイ

- A. 湿度設定インジケータ
- B. 相対湿度 (RH) %
- C. ミストレベル
- D. タイマー
- E. ウォームミスト設定
- F. 自動モードインジケータ
- G. 水位低下インジケータ

コントロールパネル

- H. オン/オフボタン
- I. ミスト量ボタン
- J. ウォームミストボタン
- K. 湿度ボタン
- L. タイマーボタン
- M. 自動モードボタン



コントロール

注記： リモコンにも同じコントロール機能が搭載されています。



オン/オフボタン

- 加湿器をオンまたはオフにできます。



タイマーボタン

- タイマーを設定するか、キャンセルします（12ページを参照）。




ミスト量ボタン

- ミスト量の設定を「低」「中」「高」に変更できます。



自動モードボタン

- 自動モードをオンまたはオフにします（12ページを参照）。
- 長押しするとディスプレイがオフになります。ディスプレイを再びオンにするには、以外のいずれかのボタンを押します。



ウォームミストボタン

- ウォームミストをオン/オフにして、ウォームミストの設定を「低」「中」「高」に変更できます（11ページを参照）。



湿度ボタン

- 相対湿度（RH）のパーセンテージを設定します。加湿器は自動的に目標湿度を維持します（11ページを参照）。
- 長押しすると湿度の設定をキャンセルできます。

リモコン

リモコンを使用すると、離れた場所から加湿器の機能をコントロールできます。リモコンは、加湿器から5mの範囲内でなければ使用できません。

注記：

- リモコンを使用する前にバッテリー格納部からプラスチックのつまみを取り除いてください。[図1.1]
- バッテリーの交換については、19ページをご覧ください。



図 1.1

はじめに

1. テーブルやナイトテーブルなど、耐水性があり、床から上がっている水平な平面に加湿器を配置してください。壁や電気製品が濡れるのを防ぎ、湿度センサーが適正に機能するように加湿器は壁と電気製品から30 cm以上離します。**[図2.1]** 部屋が十分に換気されていることを確認します。

注記：

- 加湿器は床やカーペット、敷物上に直接置かないでください。
 - 長時間使用する場合は、加湿器の下にタオルまたはマットを敷いてください。加湿器から大量のミストが出ている場合は、加湿器のまわりに湿気が集まり、表面が濡れる可能性があります。
2. 給水タンクからノズルキャップを取り外します。ハンドルを使い、慎重に底部から給水タンクを取り外します。**[図2.2]**
 3. タンクをひっくり返し、キャップを反時計回りにまわして外します。**[図2.3]**
 4. 開口部に水を入れます。冷たい水または室温の水をタンクの半分以上になるまで入れます。お湯は**使わない**でください。

注記：

- 加湿器では精製水または蒸留水を使用なさるようお勧めします。
- 最大容量は6Lです。
- 給水タンクのキャップを取り付ける前に、キャップのまわりにシリコン製リングがしっかり付いていることを確認します。

ノズルは壁と電気製品の方に向けないでください。

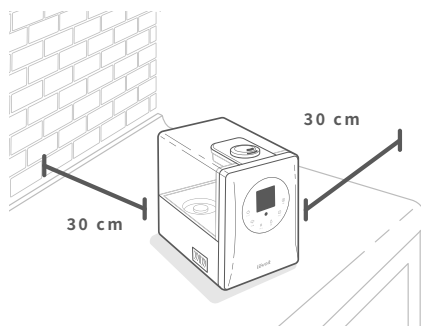


図 2.1

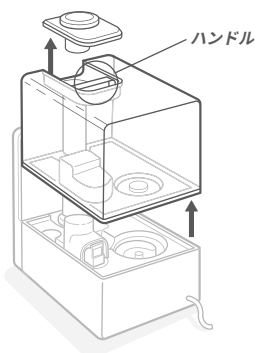


図 2.2

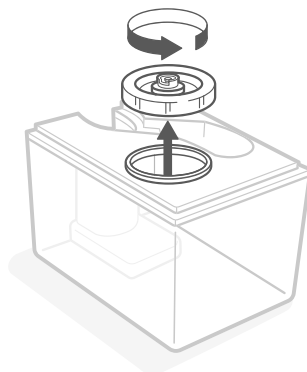


図 2.3

注意

- 底部の内側の溝には水を入れないでください。[図2.4]
- ノズルやミストチューブから水を入れないでください。[図2.5] 加湿器が損傷する可能性があります。
- 加湿器にはエッセンシャルオイルを入れないでください。[図2.6] エッセンシャルオイルはアロマパッドのみで使用できます。[図2.7]



図 2.4

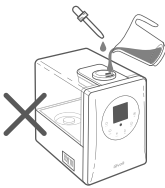


図 2.5

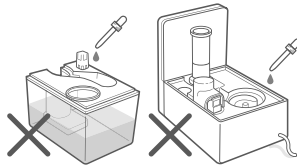


図 2.6

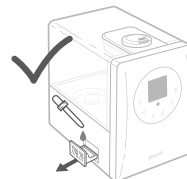


図 2.7

はじめに（続き）

5. 給水タンクのキャップを取り付けます。キャップを時計回りにまわし、給水タンクにしっかり固定します。[図2.8] 底部の上下の余分な水を拭き取ります。
6. 給水タンクを慎重に底部に戻し、給水タンクキャップの位置を内側の溝に合わせます。給水タンクの最上部にノズルキャップを戻します。[図2.9]

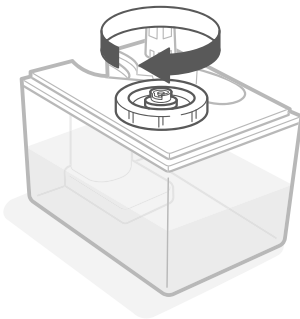


図 2.8

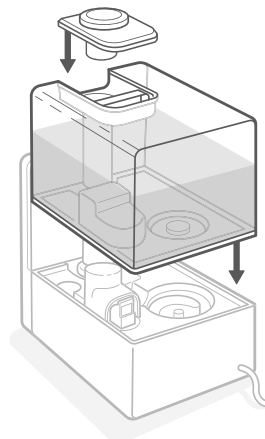


図 2.9

加湿器の使用

一般的な操作

1. 加湿器のプラグを入れます。加湿器は点灯した後、オフになります。
2. 〇を押して加湿器をオンにします。加湿器は「中」レベルのクールミスト設定で加湿を始めます。

注記：

- タンクに水がない場合は、💧が点灯します。給水タンクに水を入れてください（「はじめに, 8ページ」を参照）。
 - 加湿器は環境温度と湿度によって作動時間が異なります。
3. ノズルを回し、ミストの方向を調整してください。[図3.1]

注記：

- 家具や壁などが濡れないようノズルは別の方向に向けてください。
 - ノズルから直接ミストを吸い込まないでください。
4. 〇を押して、ミストのレベルを変更することもできます。

注記：部屋の相対湿度が高すぎる場合は、ミストを「低」設定にするか、加湿器をオフにしてください。

5. 〇を押して加湿器をオフにします。

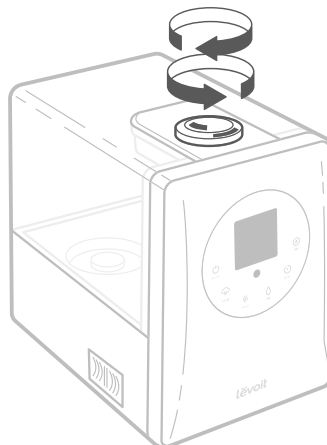


図 3.1

加湿器の使用（続き）

ウォームミスト

- ㉞を押してウォームミストをオンにします。これを押し続けると、ミストの温度設定を変えたり、ウォームミストをオフにしたりできます。
- **注意：**ミストは熱くなる可能性があります。ウォームミストの使用中は、ノズルの上に手や顔、他の体の部位をかざさないでください。[図3.2]
- 加湿器は、ウォームアップしてウォームミストを出せるようになるまで15分ほどかかる可能性があります。
- ウォームミスト機能は自動モードで使用できます。

ウォームミストの説明	
アイコン	設定
	低
	中
	高

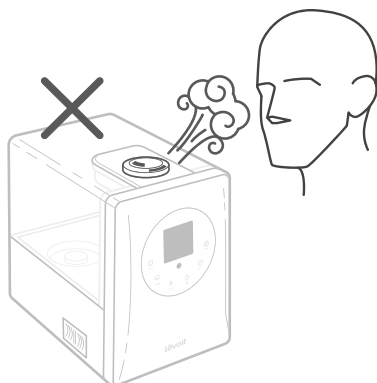
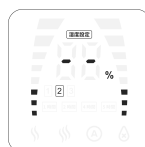


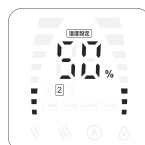
図 3.2

湿度

加湿器が維持する湿度はカスタマイズできます。



1. 〇を一度押ししてください。ディスプレイに「--」と表示されます。



2. 〇を押し続けると、湿度を40%~80%の相対湿度 (RH) に設定できます。



4回点滅

3. ディスプレイが4回点滅し、選択した湿度が確定します。

注記：

- RHパーセンテージの設定後、ディスプレイは設定されたRHのパーセンテージと現在の湿度を交互に表示します。
 - 設定をキャンセルするには、〇を3秒間押すか、湿度レベルを「--」に設定してください。
 - プログラムされた湿度はいつでも〇を押すと変更できます。
 - 湿度の設定後も、ミスト量やタイマー、ウォームミストの設定を調整できます。
4. 室内の湿度が設定されたRHのパーセンテージに達すると、加湿器は自動的にミストを出すのをやめます。湿度が設定レベルよりも5%低くなると、ミストを再び出し始めます。

加湿器の使用（続き）

タイマー

タイマーは1～12時間の間に設定できます。

- を繰り返し押し、1時間単位で時間を選びます。●を押すのをやめると、ディスプレイが3回点滅し、タイマーがスタートします。
- タイマーが終了すると、加湿器は自動的にオフになります。
- タイマーをキャンセルするには、ディスプレイに「-:--」と表示されるまで●を繰り返し押しします。

自動モード

自動モードでは、加湿器のセンサーを使用してミスト量を調整し（またはオフにして）、快適な湿度を維持します。

- Ⓐを押すと、自動モードをオンまたはオフにできます。
- 自動モードでは、タイマーとウォームミストの設定を使用できます。
- ミスト量または湿度を変更すると、自動モードが終了します。

ディスプレイをオフにする

ディスプレイは操作しなければ10秒後に自動的に暗くなります。

- ディスプレイをオフにするには、Ⓐを3秒間押ししてください。
- ディスプレイを再びオンにするには、●以外のいずれかのボタンを押ししてください。
- リモコンの☑を押してディスプレイのオンとオフを切り替えることもできます。

メモリー機能

加湿器は電源に接続されている間であれば、オフにしても設定（タイマー以外）を記憶しており、再びオンにするとその設定が再開されます。

自動停止

タンクの水がすべてなくなるか、タンクが底部から取り外されると、加湿器は自動的にオフになります。タンクに給水するか、タンクを適切に底部に戻すまでディスプレイにはⒶが表示されます（ディスプレイの残りの部分はオフになります）。[図3.3]

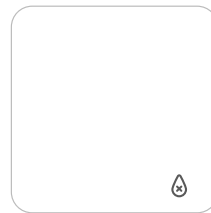


図 3.3

吸収パッド

鉱物吸収パッドは、加湿器内部、特に加熱プレート付近で鉱物の蓄積（水垢）を防ぎます。

注記：パッドを追加購入するには、19ページをご覧ください。

加湿器の使用（続き）

アロマボックスの使用

この加湿器はアロマセラピーにもご利用いただけます。

1. 加湿器の左側にあるアロマボックスを引き出してください。[図3.4]
2. アロマパッドにエッセンシャルオイルを2～3滴たらしめます。[図3.5]
3. アロマボックスを加湿器に戻します。
4. 加湿器をオンにします。

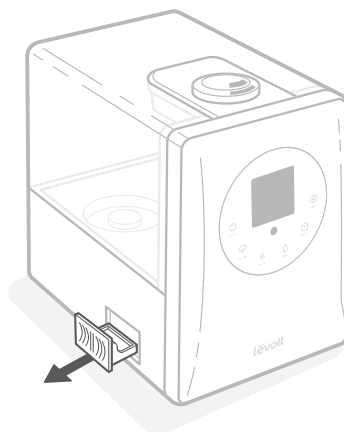


図 3.4

注記：

- エッセンシャルオイル、追加水処理液、第三者の水フィルターを給水タンクまたは底部に**入れないでください**。エッセンシャルオイルはアロマパッドで**のみ**使用できます。[図3.6]
- アロマパッドはエッセンシャルオイルを放散した後、きれいにして再使用できます（「アロマパッドの清掃」、18ページを参照）。
- アロマは軽い香りになるよう設計されています。この加湿器はアロマディフューザーではありません。

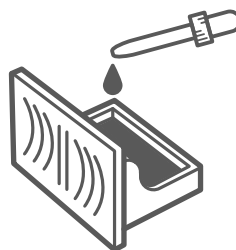


図 3.5

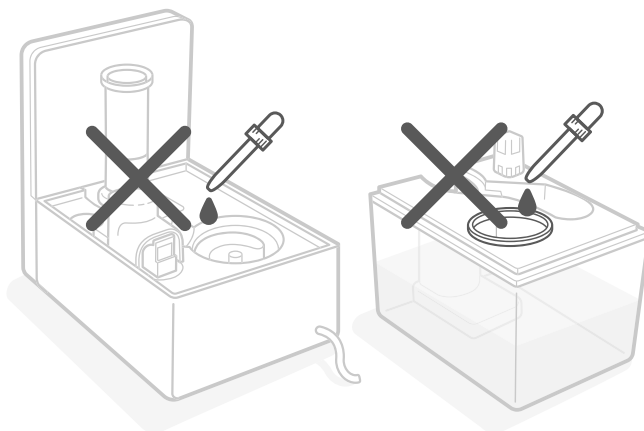


図 3.6

重要なヒント

加湿器を適切に機能させるには、内側の溝に適切な量の水がなくてはなりません。内側の溝の水が多すぎると、加湿器はミストを生成できません。

- 決して内側の溝に直接、水を注がないでください。給水タンクには水のみを入れてください。[図4.1] 加湿器は自動的に適正な量の水を内側の溝に放出します。
- 加湿器は動かしたり揺らしたりしないでください。[図4.2] 給水タンクから内側の溝に過剰な量の水が放出される可能性があります。
- 加湿器は動かす前にオフにしてプラグを抜き、給水タンクを取り外してください。
- 加湿器が適正にミストを生成しない場合は、内側の溝に入っている水が多すぎる可能性があります。内側の溝の水を出し、給水タンクに再び水を入れて、底部に戻してください。[図4.3]

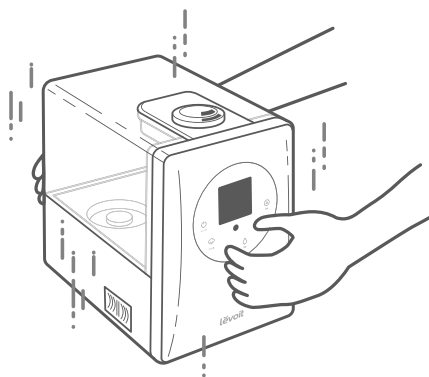


図 4.2

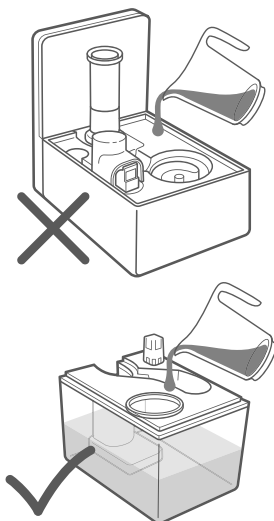


図 4.1

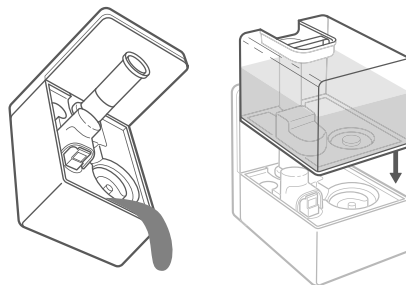


図 4.3

重要なヒント（続き）

底部に適切に配置しなければ、給水タンクは水漏れする可能性があります。

- 常に給水タンクキャップのまわりにシリコンリングがしっかりはまっていることを確認してください。[図4.4]
- キャップを回し、給水タンクにしっかり固定します。[図4.5]

注記：キャップとタンクの間になんかのギャップがあるのは正常です。

- 加湿器を動かす前に、底部からタンクを取り外し、底部の内側の溝から過剰な水を出してください。
- 底部の上下の余分な水を拭き取ります。
- 加湿器は揺り動かしたり、斜めになった表面に配置したりしないでください。必ず、水平な平面に置いてください。[図4.6]

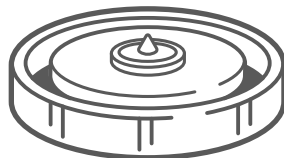


図 4.4

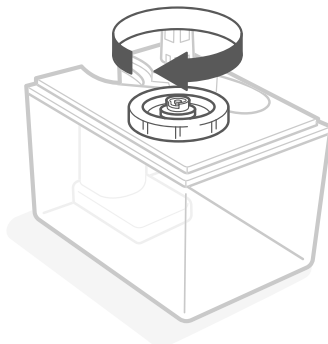


図 4.5

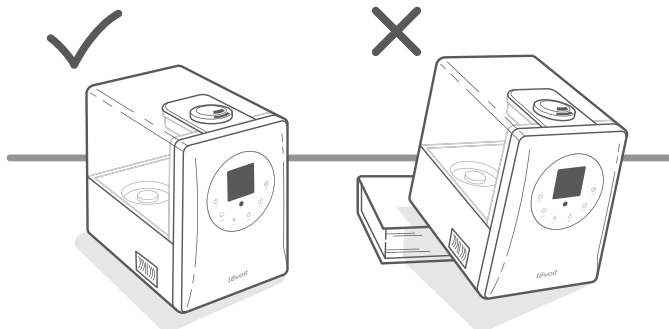


図 4.6

お手入れ & メンテナンス

注記：

- メンテナンスはすべて、キッチンのカウンターのような耐水性の表面で行ってください。
- バクテリアが発生しないように水は毎日換えてください。
- ティッシュまたは布を使用してノズルを定期的に清掃してください。
- 加湿器を1週間以上使用しない場合は、水を内部に残したままにしないでください。加湿器は清掃して乾かします。

クリーニング

加湿器は毎週、また保管する前にきれいにしてください。

注記：

- 底部は決して水や液体に浸さないでください。加湿器のどの部分も皿洗い機に入れないでください。
- 加湿器を清掃する際は洗剤を使用しないでください。

1. 加湿器のプラグを抜きます。**必ず**クリーニング前に加湿器のプラグを抜いてください。

注記：ウォームミスト設定を使用していた場合は、クリーニングの前に加湿器の温度を下げてください。

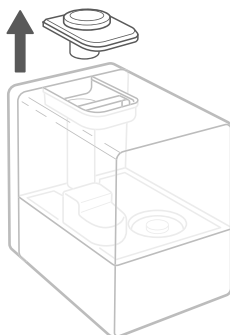


図 5.1

2. ノズルキャップを取り外して洗います。[図5.1]
3. 底部からタンクを取り外し、底部の内側の溝から水を出します。[図5.2] ウォームミスト設定を使用した後、水がまだ熱い場合は注意してください。
4. タンクと内側の溝を室温の水で洗います。
5. ミストチャネルとミストチューブを取り外します。[図5.3] ミストチューブを反時計回りにまわしてミストチャネルから外します。両方とも水洗います。

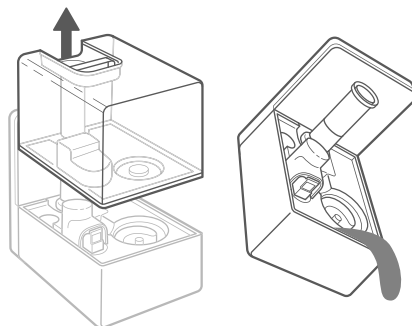


図 5.2

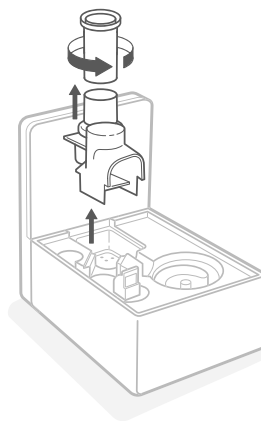


図 5.3

お手入れ&メンテナンス（続き）

6. 鉱物の蓄積（水垢）を取り除くには：
- タンクに710 mLの蒸留穀物酢を入れます。[図5.4]
 - 給水タンクキャップを取り付け、やさしく振って酢が給水タンクの内部全体をカバーするようにします。[図5.5]
 - タンクを底部の上に置き、15～20分間そのままにします。酢を内部の溝に流し入れ、タンクと内部の溝の水垢の付着をゆるめます（トランスデューサーと浮きも含まれます）。[図5.6]
 - タンクを取り外し、酢を出します。[図5.7]
 - 同梱の掃除用ブラシとやわらかい布を使い、水垢を取り除きます。[図5.8]

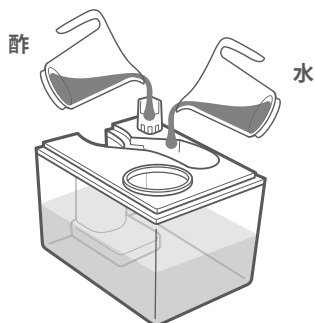


図 5.4

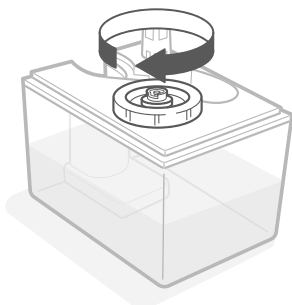


図 5.5

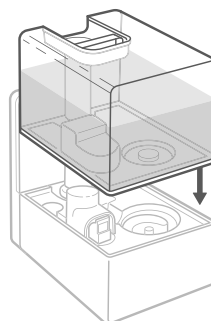


図 5.6

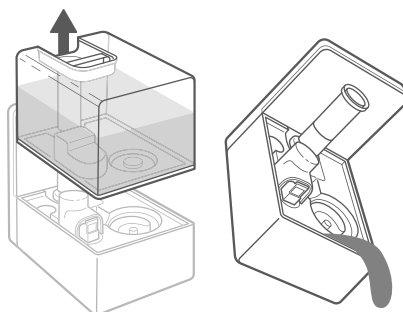


図 5.7

液体が通気口に入らないようにしてください

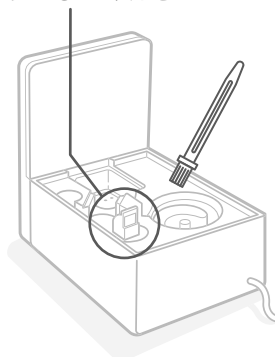


図 5.8

お手入れ&メンテナンス（続き）

7. 酢のにおいが完全に取れるまで、すべての部品を水洗いします。[図5.9]
8. 布ですべての部品を乾かします。再び組み立てるか、保管する前に加湿器のすべての部品が完全に乾いていることを確認します。

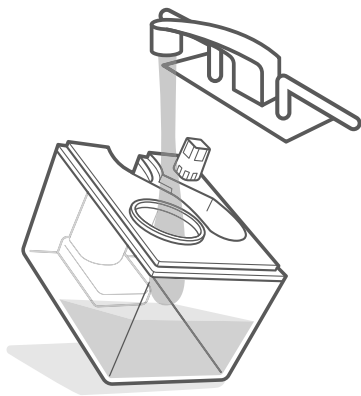


図 5.9

アロマパッドと吸収パッドの清掃

1. アロマボックスを引き出し、アロマパッドを取り出します。[図5.10]
2. 加熱エレメントの内部から吸収パッドを取り出します。[図5.11]
3. あたためた流水でパッドを水洗いします。
4. 清潔な布でパッドを拭いて乾かします。
5. アロマパッドをアロマボックスに戻します。
6. 吸収パッドを底部に戻します。

注記：パッドまたは加湿器の他の部品を清掃するために液体クリーナーや洗剤は**使わない**でください。

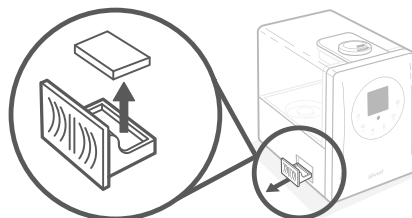


図 5.10

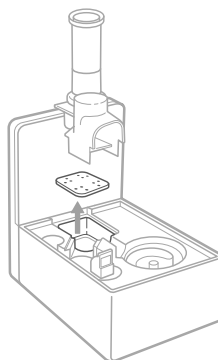


図 5.11

お手入れ&メンテナンス（続き）

アロマパッドと吸収パッドの交換

清掃後もアロマパッドまたは吸収パッドが硬い場合は、交換する必要があります。加湿器には複数のパッドが同梱されています。

加湿器の性能を維持するため、Levoitの純正アロマパッドと吸収パッドのみを使用してください。交換用パッドを購入するには、Levoitのオンラインストアをご利用ください。詳細については、levoit.comをご覧ください。

バッテリー

清掃手順（15ページを参照）に従い、保管前にすべての部品を完全に乾かします。涼しく乾燥した場所で保管します。

リモコンのバッテリー交換

1. バッテリー格納部を取り外します。つまみを押して格納部を引き出してください。[図5.12]
2. 古いバッテリーを取り外します。
3. 新しい3V CR2025バッテリーに交換します。極性が一致していることを確認します。
4. バッテリー格納部を元に戻します。

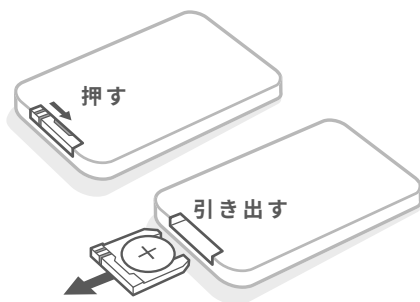


図 5.12

トラブルシューティング

問題	可能な解決策
ノズルからほとんど、またはまったくミストが出てこない。	加湿器のプラグを入れてオンにします。
	給水タンクに水を入れます。
	加湿器を清掃します（「お手入れ&メンテナンス」、16ページを参照）。
	通気口に水が入っている可能性があります。給水タンクを取り外し、再び使用する前に通気口を完全に空気乾燥させてください。
	加湿器、特にノズルとトランスデューサーを清掃します（「お手入れ&メンテナンス」、16ページを参照）。通気口をふさいでいるものがないことを確認します。
	内側の溝に水が過剰に入っている可能性があります。内側の溝を空にします。給水タンクに再び水を入れ（内側の溝ではありません）、適切に底部の上に配置します。
水の消費が早すぎる。	加湿器は環境温度と湿度に応じて水を消費します。室内が寒すぎる、または乾燥しすぎている場合は、より早く水がなくなります。
	ウォームミスト機能を使用すると、水が早くなくなります。
加湿器から異臭がする。	加湿器が新しい場合は、給水タンクキャップを取り外し、給水タンクを乾いた涼しい場所に12時間置いてください。
	エッセンシャルオイルを使用していた場合は、アロマパッドを水洗いして乾かします。
	加湿器を清掃します（「お手入れ&メンテナンス」、16ページを参照）。
加湿器から大きな音または異常な音がする。	給水タンクが適切に配置されていることを確認します（「はじめに」、8ページを参照）。
	加湿器は水平な平面に置いてください。
	給水タンクに水を入れます。
	ウォームミスト機能の使用時、水位が低いと加熱エレメントがごぼごぼという音を立てます。給水タンクには水を追加してください。
	加湿器は機能不全になっている可能性があります。加湿器の使用を中止し、 顧客サポート までご連絡ください（23ページを参照）。
ミストが底部から漏れる。	給水タンクが適切に配置されていることを確認します（「はじめに」、8ページを参照）。

トラブルシューティング(続き)

問題	可能な解決策
水が明らかに加湿器から漏れている。	加湿器の使用をやめ、「 重要なヒント (15ページ)を確認してから再び使用してください。加湿器の水漏れが続く場合は、 顧客サポート までご連絡ください (23ページを参照)。
加湿器のまわり、または内部に白いほこりが見える。	これは水中の鉱物が原因です。加湿器には精製水または蒸留水を入れてください。鉱物含有量の高い水は使用しないでください。
	加湿器は毎週、清掃してください (「 お手入れ&メンテナンス 」、16ページを参照)。
加湿器のまわりが湿っている、または濡れている。	加湿器を長時間使用していた場合は、加湿器のまわりに湿気がたまっている可能性があります。長時間使用する場合は、加湿器の下にタオルまたはマットを敷いてください。
	より低いミストの設定で加湿器を使用してください。
	窓を開き、加湿器の適切な気流を確保するか、より換気のいい部屋に加湿器を動かします。
	給水タンクが適切に配置されていることを確認します (「 はじめに 」、8ページを参照)。
	給水タンクを元の場所に戻す際は、給水タンクと底部から余分な水を拭き取ってください。
	「 重要なヒント 」 (15ページ) の水漏れ対応手順に従ってください。加湿器から水漏れが続く場合は、 顧客サポート までご連絡ください (23ページを参照)。
🌀を押してもミストがあたたかくなりません。	ウォームミストを生成するまで約15分間、加湿器を加熱させます。
	加熱エレメントを清掃します (「 お手入れ&メンテナンス 」、16ページを参照)。
クールミストの設定でミストがあたたかくなる。	ウォームミストの使用後、加熱エレメントはまだあたたかい可能性があります。加熱エレメントは30分以上、クールダウンさせてください。
エッセンシャルオイルの香りが強くない。	アロマは軽い香りになるよう設計されています。この加湿器はアロマディフューザーではありません。

トラブルシューティング(続き)

問題	可能な解決策
部屋の湿度が変わらない。	より高いミスト量の設定を使用してください。
	環境によって、加湿器が室内の湿度を上げるまで時間がかかる可能性があります。
	加湿器の最大有効範囲は40~70 m ² です。これよりも大きい部屋では、加湿器の効果が低下します。
誤った湿度が表示される。	部屋が加湿器の有効範囲よりも大きい可能性があります。40~70 m ² よりも小さい部屋に移してください。
	湿度センサーの内部に湿気がたまっている可能性があります。加湿器をオフにして、センサーを空気乾燥させてください。ノズルがセンサーの方に向いていないことを確認します（「はじめに、8ページを参照」）。
	加湿器を壁から30 cm以内の場所やコーナーに置くと、湿度センサーが室内の相対湿度を適切に読み取れない可能性があります。
	ほこりがあると、湿度センサーは不適切な読み取りを行います。ほこりっぽい部屋では加湿器を使用しないでください。
	加湿器の起動時に、30%または90%のRHが常にディスプレイに表示される場合は、湿度センサーが機能不全になっています。顧客サポートまでご連絡ください（23ページを参照）。
加湿器がリモコンに反応しない。	リモコンを加湿器から5 m以内の場所に動かしてください。
	バッテリー格納部からプラスチックのつまみを取り除きます。
	バッテリーを交換します（「リモコンのバッテリー交換」、19ページを参照）。

リストに問題が含まれていない場合は、顧客サポートまでご連絡ください(23ページを参照)。

保証について

条件および方針

ETEKCITY株式会社は、全製品が最高品質の材料と熟練技術によって製造されており、購入日から2年間、保証期間が終了するまで作動することを保証します。保証期間は製品の種類によって異なります。

新しい製品についてご質問やご心配な点がある場合は、お気軽に弊社顧客サポートまでご連絡ください。

顧客サポート

新しい製品に問題が発生したり、不明な点がある場合は、お気軽に弊社顧客サポートまでご連絡ください。

顧客サポート

ETEKCITY株式会社

東京都千代田区鍛冶町二丁目10番10号GC
神田鍛冶町ビル3F

Eメール：support.jp@levoit.com（年中無休）（24時間内返信で対応いたします）

* 顧客サポートにご連絡いただく際は、注文番号をお知らせください。

lěvoit

当社と繋がりましょう @levoitjapan



A0-N/A_20H17